

### 中山間地域の振興について

大野 秀郎 議員  
(新政みえ/多気郡選出)

#### 問

三重県を全体的に元気にするには、中山間地域を元気にすることが必要だと思います。

県が実施する、中山間地域を対象とした「地域づくり事業」は、国の補助事業が中心です。

そこで、来年度に向け、「中山間地域づくり局」といった、各部署が実施する国の補助事業を含め、総合的に施策を行う組織を設置すべきと考えますが、知事の見解を伺います。



県と市町の地域づくり支援会議

#### 答

地域主権社会実現のためには、地域が創意工夫し、自主的・主体的な取り組みをすることが大切だと考えます。

県としては、県民センターと市町による「県と市町の地域づくり支援会議」や、県庁・地域機関に設置した連絡会議などを活用し、部局横断的に取り組み、地域課題の解決を支援します。

○文化力について ほか

### 観光振興について

前野 和美 議員  
(自民・無所属議員団/津市選出)

#### 問

中勢地域は、世界とつながる海の玄関口「津なぎさまち」を有し、高田本山専修寺、榊原温泉、北畠氏館跡庭園など素晴らしい観光資源があります。

専修寺では、来年4月の大恩会、平成22年の御影堂落慶法会、平成24年の親鸞聖人七百五十回忌などの諸行事が行われます。

この諸行事にあわせ、観光地づくり、観光商品づくりへの取り組みについてお伺いします。

#### 答

専修寺は、2つの国宝源を持っています。専修寺での諸行事を契機として、関係諸団体で、町あるきルートなど観光地づくりの協議を5月から始めたところでは、大恩会には全国から20万人の参拝者が訪れるとのことから、榊原温泉等を組み合わせた旅行商品づくりにも取り組んでいます。



高田本山お七夜

○農業政策について ほか

### 中勢バイパス道路の促進と県地方道の整備促進について

笹井 健司 議員  
(新政みえ/松阪市選出)

#### 問

中勢バイパスは計画決定から25年が経過しましたが、全体計画の半分の供用にとどまり、県の道路行政の緩慢さを感じます。

また、一部開通のため、付近の地方道への車両進入が増えており、こうした地方道についても、歩行者保護等のため、抜本的な改良が必要と考えます。



中勢バイパスの整備促進に向けた取り組みについて、知事の意気込みをお聞かせください。

#### 答

中勢バイパスを含む県内の主要幹線道路路網については、おおむね10年後の完成をめざし、より一層の事業促進に取り組みしていきます。併せて、幹線道路にアクセスする県管理道路についても着実に整備を進めていきます。

○県土づくりと地域づくりについて ほか

### 伊賀米の振興と酒米について

岩田 隆嘉 議員  
(自民・無所属議員団/伊賀市選出)

#### 問

科学技術振興センターで酒米の新品種が育成開発され、伊賀地域で試験栽培されています。

その伊賀地域の土壌は、米作りには適していますが、転作作物に不向きで、加工用米の作付けによる転作を実施しています。

新品種を普及していく体制作りや、米の生産調整制度の中で、新品種が地域で確実に定着できる環境づくりについて、どのように進めていくのでしょうか。

#### 答

新品種の栽培の推進については、県の研究・普及部門が連携し、生産者とともに、種子の確保や栽培技術の普及定着を進め、品質向上を図り、需要に見あった生産を進めます。



さらに生産調整制度の仕組みの中で、売れる米づくりの取組として地域への「生産数量の傾斜配分」について検討します。

○県庁の組織の見直しについて ほか